

証券コード8543
平成25年6月10日

株主の皆さまへ

神戸市中央区三宮町2丁目1番1号

株式会社 **みなと銀行**

取締役頭取 尾 野 俊 二

第14期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当行第14期定時株主総会を後記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、以下のいずれかの方法によって、議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討くださいますと、平成25年6月26日（水曜日）午後5時までに議決権をご行使くださいますようお願い申し上げます。

【書面（郵送）による議決権行使の場合】

同封の議決権行使書用紙に賛否をご表示いただき、上記行使期限までに到着するようご返送ください。

【電磁的方法（インターネット）による議決権行使の場合】

後記の「インターネットによる議決権行使のお手続について」（46頁から47頁）をご高覧のうえ、上記行使期限までに電磁的方法により議決権をご行使ください。

敬 具

記

1. 日 時 平成25年6月27日（木曜日）午前10時
2. 場 所 神戸市中央区三宮町2丁目1番1号 当行本店 9階会議室
3. 株主総会の目的事項

- 報 告 事 項** (1) 第14期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）事業報告及び計算書類の内容報告の件
- (2) 第14期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

決 議 事 項

- 第1号議案** 剰余金の処分の件
- 第2号議案** 取締役5名選任の件
- 第3号議案** 監査役2名選任の件

以 上

~~~~~

◎当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

◎本招集ご通知に際して提供すべき書類のうち、以下の事項につきましては、法令及び定款第24条の規定に基づき、インターネット上の当行ホームページ（<http://www.minatobk.co.jp>）に掲載しておりますので、本招集ご通知添付書類には記載しておりません。

- ① 個別注記表（計算書類の注記）
- ② 連結注記表（連結計算書類の注記）

なお、本招集ご通知添付書類に記載されている計算書類及び連結計算書類は、会計監査人が会計監査報告を作成するに際して監査をした計算書類及び連結計算書類の一部であります。

◎株主総会参考書類並びに事業報告、計算書類及び連結計算書類に記載すべき事項を修正する必要がある場合は、修正後の事項を当行ホームページ（<http://www.minatobk.co.jp>）に掲載いたしますのでご了承ください。

(添付書類)

## 第14期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで) 事業報告

### 1. 企業集団の現況に関する事項

#### (1) 企業集団の事業の経過及び成果等

##### 【企業集団の主要な事業内容】

当行グループは、銀行業務を中心に、クレジットカード業務、信用保証業務、リース業務、事務処理代行業務、ベンチャーキャピタル業務などの金融サービスに係る事業を行っております。

##### 【金融経済環境】

平成24年度の兵庫県経済は、上期において欧州債務問題の深刻化やそれを受けた中国をはじめとする新興国の景気減速などの影響により、景気持ち直しの動きに足踏みが見られるようになりました。

その後、次第に景気後退色が強まるなかで、年末には総選挙も実施され政権交代となり、経済対策への期待感から、期末にかけて株高や円安傾向といった景気のトレンドの変化も窺わせるような動きとなりました。

##### 【企業集団の事業の経過及び成果】

このような環境下、当行グループは中期経営計画『みなと「3S」Up (スリーエス・アップ)』の諸施策を推進した結果、当連結会計年度の業績は以下のとおりとなりました。

当連結会計年度の経常収益は、貸出金利息等の減少により、前連結会計年度比1億円減少の651億円となりました。一方、経常費用も、営業経費等の減少により、前連結会計年度比1億円の減少となった結果、経常利益は123億円と、前連結会計年度とほぼ同額となりました。

しかし、法人税等が増加したため、当期純利益は、前連結会計年度比8億円減少の69億円となりました。

## [当行の事業の経過及び成果]

### ・預 金

総合取引の推進による家計メイン化等に努めた結果、個人預金を中心に前期末比970億円増加し、当期末残高は2兆8,707億円となりました。

### ・貸 出 金

中小企業向け貸出は横ばいで推移したものの、住宅ローン、地方公共団体向け貸出が順調に推移したことを受け、貸出金全体では前期末比721億円増加し、当期末残高は2兆2,605億円となりました。

このうち個人向けは、前期末比136億円増加し、当期末残高は6,586億円、中小企業向けは、前期末比1億円減少し、当期末残高は1兆1,469億円となりました。

### ・有 価 証 券

国債等の債券の増加を主因に、前期末比293億円増加し、当期末残高は8,041億円となりました。

このうち国債は、前期末比174億円増加し、当期末残高は4,180億円となりました。

### ・総 資 産

前期末比849億円増加し、当期末残高は3兆1,638億円となりました。

### ・内国為替取扱高

期中550億円増加し、10兆379億円となりました。

### ・外国為替取扱高

期中92百万ドル増加し、21億49百万ドルとなりました。

### ・損 益 状 況

貸出金利息は、残高は増加したものの利回り低下が進んだことから前期比18億円の減少となりましたが、役務取引等収益につきましては、シンジケートローンの組成や投資信託販売が持ち直しに転じたこと等から前期比5億円の増加となりました。

また、国債等の有価証券の売却益につきましても前期比3億円増加しましたが、経常収益は前期比9億円減少の575億円となりました。

経常費用は、借入金圧縮等経費削減への取組みにより前期比15億円改善したことから、経常利益は105億円となりました。

また、当期純利益は、前期比1億円減少の63億円となりました。

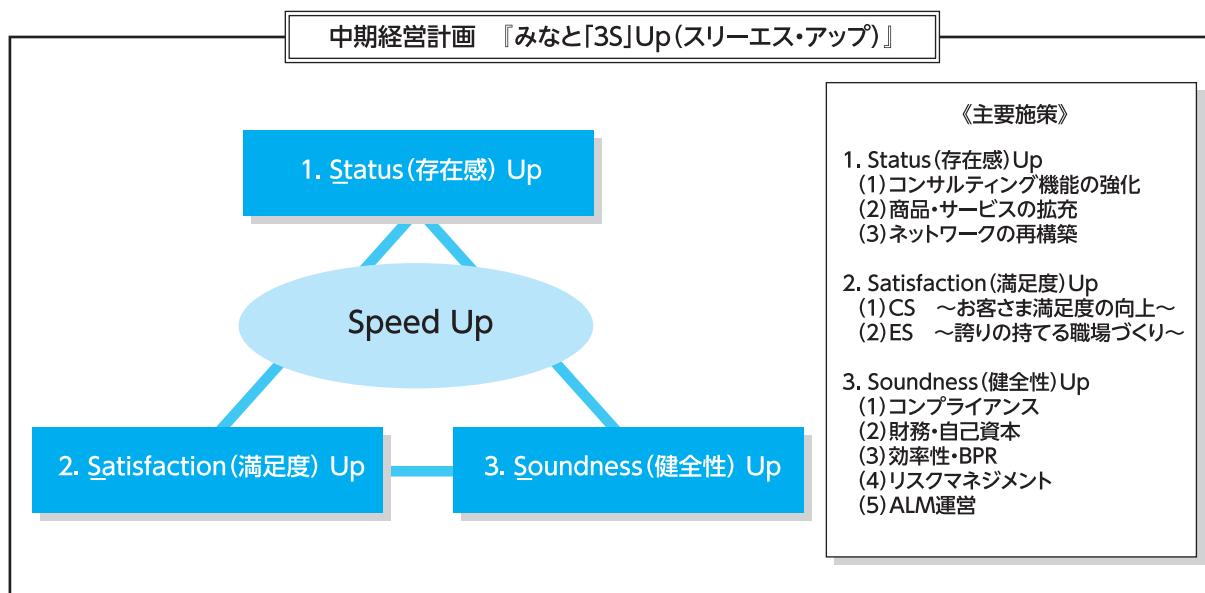
## 【企業集団の対処すべき課題】

わが国経済は、欧州債務問題や近隣諸国との関係面の影響など先行き不透明な状況にはあるものの、政権交代による経済対策への期待感から期末にかけ株価回復や円安の進行等により、景気トレンドの変化も窺わせるような動きとなりました。

そうした中、少子高齢化の進展や人口の減少といった社会構造の大きな変化とともに、金融機関を取り巻く経営環境は大きく変化しております。

当行グループは、平成23年度より「1. Status（存在感）Up」「2. Satisfaction（満足度）Up」「3. Soundness（健全性）Up」の3つを基本方針とする中期経営計画『みなと「3S」Up（スリーエス・アップ）』（平成23年度～平成25年度）に取り組んでおり、この3年間で、高齢化、IT化及び企業のアジア進出が加速する環境の下、当行の『存在感を高める』ための諸施策をスピード感を持って取り組むステージとして位置付けております。

現中期経営計画の最終年となります今年度につきましては、これら基本方針に基づく主要施策の総仕上げに向け、更に取り組みを加速させてまいります。



また、平成25年3月の中小企業金融円滑化法期限到来後の対応におきましても、引き続き、地域の中小企業・個人のお客さまへ安定的かつ円滑に資金供給を行うことは勿論、事業再生、事業承継、ビジネスマッチング及び海外進出支援等といった、コンサルティング機能の発揮による地域密着型金融を強力に推し進めることで「みなと銀行の存在感を高める」べく、役職員一丸となって取り組んでまいります。

今後ともお客さまの幅広いニーズにお応えしていくため、金融サービスの一層の拡充に努めるとともに、三井住友銀行グループの地域金融機関として、金融・情報サービスの提供を通じて、地域に貢献してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご厚情とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## (2) 企業集団及び当行の財産及び損益の状況

### イ. 企業集団の財産及び損益の状況

(単位：億円)

|         | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 |
|---------|--------|--------|--------|--------|
| 連結経常収益  | 710    | 675    | 652    | 651    |
| 連結経常利益  | 89     | 136    | 123    | 123    |
| 連結当期純利益 | 35     | 86     | 77     | 69     |
| 連結包括利益  | —      | 93     | 89     | 123    |
| 連結純資産額  | 1,052  | 1,114  | 1,181  | 1,281  |
| 連結総資産   | 29,404 | 30,218 | 30,893 | 31,698 |

注 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

□. 当行の財産及び損益の状況

(単位：億円)

|               | 平成21年度        | 平成22年度        | 平成23年度        | 平成24年度        |
|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 預 金           | 26,557        | 27,016        | 27,737        | 28,707        |
| 定期性預金         | 11,617        | 11,353        | 11,446        | 11,736        |
| その他           | 14,939        | 15,663        | 16,291        | 16,970        |
| 社 債           | 50            | 147           | 280           | 280           |
| 貸 出 金         | 22,020        | 21,959        | 21,884        | 22,605        |
| 個人向け          | 6,355         | 6,360         | 6,450         | 6,586         |
| 中小企業向け        | 11,391        | 11,536        | 11,470        | 11,469        |
| その他           | 4,273         | 4,063         | 3,964         | 4,549         |
| 商品有価証券        | 9             | 5             | 5             | 7             |
| 有 価 証 券       | 6,001         | 6,683         | 7,748         | 8,041         |
| 国 債           | 2,426         | 2,952         | 4,006         | 4,180         |
| その他           | 3,575         | 3,730         | 3,742         | 3,861         |
| 総 資 産         | 29,284        | 30,113        | 30,789        | 31,638        |
| 内 国 為 替 取 扱 高 | 125,636       | 111,088       | 99,829        | 100,379       |
| 外 国 為 替 取 扱 高 | 百万ドル<br>2,100 | 百万ドル<br>2,110 | 百万ドル<br>2,057 | 百万ドル<br>2,149 |
| 経 常 利 益       | 百万円<br>8,587  | 百万円<br>11,640 | 百万円<br>9,873  | 百万円<br>10,538 |
| 当 期 純 利 益     | 百万円<br>3,458  | 百万円<br>7,601  | 百万円<br>6,406  | 百万円<br>6,365  |
| 1株当たり当期純利益    | 8円42銭         | 18円62銭        | 15円87銭        | 15円72銭        |

注1. 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 1株当たり当期純利益は、当期純利益を期中の平均発行済株式数で除して算出しております。

なお、期中の平均発行済株式数は自己株式を除いて計算しております。

### (3) 企業集団の使用人の状況

#### イ. 企業集団における使用人数

|         | 当 年 度 末 |       | 前 年 度 末 |       |
|---------|---------|-------|---------|-------|
|         | 銀 行 業   | そ の 他 | 銀 行 業   | そ の 他 |
| 使 用 人 数 | 2,087人  | 279人  | 2,108人  | 275人  |

注 使用人数は就業人員であり、嘱託及び臨時従業員を含んでおりません。  
なお、取締役を兼務しない執行役員は使用人数に含んでおりません。

#### ロ. 当行の使用人数

|             | 当 年 度 末 | 前 年 度 末 |
|-------------|---------|---------|
| 使 用 人 数     | 2,087人  | 2,108人  |
| 平 均 年 齢     | 42年 2 月 | 42年 0 月 |
| 平 均 勤 続 年 数 | 15年10月  | 15年 7 月 |
| 平 均 年 間 給 与 | 5,771千円 | 5,755千円 |

- 注1. 使用人数は就業人員であり、嘱託及び臨時従業員を含んでおりません。  
なお、取締役を兼務しない執行役員は使用人数に含んでおりません。
2. 平均年齢、平均勤続年数、平均年間給与の算出には、他社から当行への出向者を含んでおりません。
  3. 平均年間給与は、賞与及び基準外賃金を含んでおります。

### (4) 企業集団の主要な営業所等の状況

#### イ. 企業集団の主要な営業所

##### ① 銀行業

##### 株式会社みなと銀行

兵庫県：本店営業部、尼崎支店、西宮支店、三宮支店、兵庫支店、垂水支店、明石支店、西明石支店、土山支店、加古川支店、姫路支店

大阪府：大阪支店、梅田支店

東京都：東京支店

海 外：上海駐在員事務所

- ② その他
- |                 |          |
|-----------------|----------|
| みなとビジネスサービス株式会社 | (本社：神戸市) |
| みなとアセットリサーチ株式会社 | (本社：神戸市) |
| みなと保証株式会社       | (本社：神戸市) |
| みなとリース株式会社      | (本社：神戸市) |
| 株式会社みなとカード      | (本社：神戸市) |
| みなとシステム株式会社     | (本社：神戸市) |
| みなとキャピタル株式会社    | (本社：神戸市) |
| みなとコンサルティング株式会社 | (本社：神戸市) |

注 平成24年6月28日にみなとコンサルティング株式会社を設立しております。

#### □. 当行の営業所の状況

##### ① 営業所数の推移

|       | 当 年 度 末 |       | 前 年 度 末 |       |
|-------|---------|-------|---------|-------|
|       | 店       | うち出張所 | 店       | うち出張所 |
| 兵 庫 県 | 101     | ( 3 ) | 102     | ( 4 ) |
| 大 阪 府 | 4       | ( 1 ) | 4       | ( 1 ) |
| 東 京 都 | 1       | ( — ) | 1       | ( — ) |
| 合 計   | 106     | ( 4 ) | 107     | ( 5 ) |

注1. 上記のほか、当年度末において、店舗外現金自動設備を79か所（前年度末76か所）設置しております。

2. 上記のほか、駐在員事務所を1か所設置しております。

##### ② 当年度新設営業所 該当ございません。

注1. 当年度において、塚口支店内に本店営業部塚口住宅ローンプラザ出張所を移転したため、出張所を廃止いたしました。

2. 当年度において、店舗外現金自動設備として、西明石支店西明石駅南出張所、西明石支店兵庫県立リハビリテーション中央病院出張所、加古川支店順心病院出張所を新設いたしました。

3. 当年度において、廃止した店舗外現金自動設備はありません。

## (5) 企業集団の設備投資の状況

### イ. 設備投資の総額

(単位：百万円)

| 事業セグメント | 金額    |
|---------|-------|
| 銀行業     | 3,142 |
| その他     | 103   |
| 合計      | 3,246 |

### ロ. 重要な設備の新設等

(単位：百万円)

| 事業セグメント | 内容                   | 金額    |
|---------|----------------------|-------|
| 銀行業     | 西明石支店 新築工事           | 465   |
|         | 明舞支店 新築工事            | 172   |
|         | 本山支店仮設店舗 工事          | 170   |
|         | 春日野支店 内装美装工事         | 134   |
|         | 須磨ニュータウン支店<br>美装増床工事 | 128   |
| 合計      |                      | 1,070 |

## (6) 重要な親会社及び子会社等の状況

### イ. 親会社の状況

| 会社名                 | 所在地               | 主要業務内容                 | 設立年月日      | 資本金              | 親会社が有する当行の議決権比率   |
|---------------------|-------------------|------------------------|------------|------------------|-------------------|
| 株式会社三井住友フィナンシャルグループ | 東京都千代田区丸の内一丁目1番2号 | 傘下子会社の経営管理並びにそれに付随する業務 | 平成14年12月2日 | 2,337,895<br>百万円 | —<br>(46.43%)     |
| 株式会社三井住友銀行          | 東京都千代田区丸の内一丁目1番2号 | 銀行業務                   | 平成8年6月6日   | 1,770,996<br>百万円 | 45.10%<br>(1.33%) |

注1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

注2. 議決権比率欄の( )内は親会社による間接議決権比率であります。

注3. 親会社が有する当行の議決権比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

ロ. 子会社等の状況

連結される子会社及び子法人等は9社6組合であり、その概況は次のとおりであります。

| 会社名                                     | 所在地                                                                | 主要業務内容               | 設立年月日      | 資本金       | 当行が有する子会社等の議決権比率   |
|-----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|----------------------|------------|-----------|--------------------|
| みなとビジネスサービス株式会社                         | 神戸市中央区伊藤町107番地の1                                                   | 事務処理代行業務他            | 昭和57年9月24日 | 20百万円     | 100.00%            |
| みなとアセットリサーチ株式会社                         | 神戸市須磨区戎町2丁目2番6号                                                    | 不動産調査業務              | 平成元年7月17日  | 30百万円     | 100.00%            |
| みなと保証株式会社                               | 神戸市中央区伊藤町107番地の1                                                   | 信用保証業務               | 昭和58年5月26日 | 1,780百万円  | 100.00%            |
| みなとリース株式会社                              | 神戸市中央区伊藤町107番地の1                                                   | リース業務、ファクタリング業務他     | 昭和59年6月21日 | 30百万円     | 5.00%<br>(56.00%)  |
| 株式会社みなとカード                              | 神戸市中央区伊藤町107番地の1                                                   | クレジットカード業務他          | 平成2年7月11日  | 350百万円    | 5.00%<br>(91.89%)  |
| みなとシステム株式会社                             | 神戸市西区竹の台6丁目2番地                                                     | コンピュータ関連業務他          | 平成11年3月24日 | 50百万円     | 5.00%<br>(95.00%)  |
| みなとキャピタル株式会社                            | 神戸市兵庫区水木通1丁目4番7号                                                   | ベンチャーキャピタル業務、経営相談業務他 | 平成12年6月23日 | 250百万円    | 70.00%<br>(30.00%) |
| みなとコンサルティング株式会社                         | 神戸市中央区伊藤町108番地                                                     | コンサルティング業務           | 平成24年6月28日 | 50百万円     | 100.00%            |
| Minato Preferred Capital Cayman Limited | PO Box 309GT, Ugland House, Grand Cayman, KY1-1104, Cayman Islands | 証券業務                 | 平成19年9月6日  | 10,200百万円 | 100.00%            |
| その他投資事業有限責任組合6組合                        |                                                                    |                      |            |           |                    |

注1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 議決権比率欄の( )内は子会社及び子法人等による間接議決権比率であります。

3. 子会社及び子法人等の定義は、銀行法第2条第8項及び銀行法施行令第4条の2に基づいております。

4. 当行が有する子会社等の議決権比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

### (重要な業務提携の概況)

1. 第二地銀協地銀41行の提携により、現金自動設備の相互利用による現金自動引出しのサービス（略称SCS）を行っております。
2. 第二地銀協地銀41行、都市銀行6行、信託銀行3行、地方銀行64行、信用金庫271金庫（信金中央金庫を含む）、信用組合138組合（全信組連を含む）、系統農協・信漁連781（農林中金、信連を含む）、労働金庫14金庫（労金連を含む）との提携により、現金自動設備の相互利用による現金自動引出しのサービス（略称MICS）を行っております。
3. 第二地銀協地銀41行の提携により、ISDN回線交換網を利用したデータ伝送の方法による取引先企業との間の総合振込等のデータの授受のサービス及び入出金取引明細等のマルチバンクレポートサービス（略称SDS）を行っております。
4. 株式会社ゆうちょ銀行との提携により、CAFI S接続方式で現金自動設備の相互利用による現金自動引出し、現金自動預入れのサービスを行っております。
5. 株式会社三井住友銀行との提携により、現金自動設備の相互開放（当行と株式会社三井住友銀行の現金自動設備の相互利用による現金自動引出しを手数料無料扱いで取扱（時間外手数料を除く））及び現金自動設備等による振込手数料の相互本支店扱い（両行相互の振込における振込手数料を本支店扱いの手数料で取扱）を行っております。
6. 株式会社セブン銀行、株式会社ローソン・エイティエム・ネットワークスならびに株式会社イーネットとの提携により、CAFI S接続方式で同社の運営する現金自動設備の利用による現金自動引出し及び現金自動預入れのサービスを行っております。
7. 株式会社イオン銀行との提携により、現金自動設備の相互利用による現金自動引出し及び現金自動預入れのサービスを行っております。

### (7) 事業譲渡等の状況

該当ございません。

### (8) その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当ございません。

## 2. 会社役員に関する事項

### (1) 会社役員の状態

(年度末現在)

| 氏名            | 地位               | 担当                                    | 重要な兼職の状況                               |
|---------------|------------------|---------------------------------------|----------------------------------------|
| ☆尾野俊二         | 取締役頭取<br>(代表取締役) | 監査部担当                                 |                                        |
| ☆後藤盛次         | 専務取締役<br>(代表取締役) | コンプライアンス統括部・人事部・総務部担当                 |                                        |
| ☆貞苅茂          | 常務取締役            | リスク統括部・支店サポート部・法人業務部担当                |                                        |
| ☆安国尚史         | 常務取締役            | 審査企画部・審査第一部・審査第二部・審査管理部・事務統括部・事務推進部担当 |                                        |
| ☆<br>※木村真也    | 常務取締役            | 市場金融部担当                               |                                        |
| ☆<br>※近藤智彦    | 常務取締役            | 企画部・財務部・証券国際事務部担当                     |                                        |
| 太田敏郎          | 取締役<br>(社外役員)    |                                       | 株式会社ノーリツ 名誉会長                          |
| 須方輝           | 常勤監査役            |                                       |                                        |
| 菊池正八州         | 常勤監査役            |                                       |                                        |
| 岡田信吾          | 監査役<br>(社外役員)    |                                       | 星光ビル管理株式会社 代表取締役社長<br>南海電気鉄道株式会社 社外監査役 |
| 渡邊勝幸          | 監査役<br>(社外役員)    |                                       |                                        |
| ※大麻博範         | 監査役<br>(社外役員)    |                                       | 神戸マリンホテルズ株式会社 常勤監査役                    |
| (当年度中に退任した役員) |                  |                                       |                                        |
| 正木誠司          | 取締役              | 平成24年6月28日辞任                          |                                        |
| 森薫            | 取締役              | 平成24年6月28日辞任                          |                                        |
| 長手務           | 監査役<br>(社外役員)    | 平成24年6月28日退任                          |                                        |

- 注1. ※印の取締役及び監査役は、平成24年6月28日開催の第13期定時株主総会において新たに選任され就任いたしました。
2. 当年度中に退任した役員の地位は退任時のものであります。
  3. ☆印の取締役は、執行役員を兼務しております。
  4. 平成25年4月1日付で貞苺茂は常務取締役から代表取締役専務に変更となっております。
  5. 取締役 太田敏郎は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であり、また東京証券取引所、大阪証券取引所の定めに基づく独立役員であります。
  6. 監査役 岡田信吾、渡邊勝幸及び大麻博範は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であり、また東京証券取引所、大阪証券取引所の定めに基づく独立役員であります。
  7. 平成25年4月1日付で本部組織の改正を行い、審査第一部は審査部に、審査第二部は企業コンサルティング部に変更しております。

(参考) 当行は、平成12年6月29日より執行役員制度を導入しております。各執行役員（取締役を兼務する執行役員を除く）の地位、氏名及び担当は次のとおりであります。

(年度末現在)

| 氏 名     | 地 位     | 担 当             |
|---------|---------|-----------------|
| 梶 谷 静 也 | 常務執行役員  | 個人業務部長          |
| 森 本 剛   | 執 行 役 員 | 東京支店長兼企画部東京事務所長 |
| 園 尾 善 雄 | 執 行 役 員 | 事務統括部長          |
| 植 田 一 夫 | 執 行 役 員 | 加古川支店長          |
| 難 波 克 吉 | 執 行 役 員 | 監査部長            |
| 徳 田 幾 久 | 執 行 役 員 | 総務部長            |
| 村 上 卓 史 | 執 行 役 員 | 審査第二部長兼経営サポート室長 |
| 岸 本 敏 彦 | 執 行 役 員 | 人事部長            |

| 氏 名                 | 地 位     | 担 当                    |
|---------------------|---------|------------------------|
| (当年度中に退任した執行役員)     |         |                        |
| 前 田 哲 治             | 執 行 役 員 | 平成24年6月28日退任           |
| 宮 坂 利 影             | 執 行 役 員 | 平成25年3月31日辞任           |
| 岸 本 芳 久             | 執 行 役 員 | 平成25年3月31日辞任           |
| 西 村 隆 嗣             | 執 行 役 員 | 平成25年3月31日辞任           |
| 中 井 基 夫             | 執 行 役 員 | 平成25年3月31日辞任           |
| (平成25年4月以降就任した執行役員) |         |                        |
| 近 藤 将 司             | 執 行 役 員 | リスク統括部長<br>平成25年4月1日就任 |
| 中 島 亨               | 執 行 役 員 | 個人業務部長<br>平成25年4月1日就任  |
| 織 田 研二郎             | 執 行 役 員 | 企画部長<br>平成25年4月1日就任    |
| 阿 曾 薫               | 執 行 役 員 | 大阪支店長<br>平成25年4月1日就任   |

注1. 平成25年4月1日付で常務執行役員梶谷静也は常務執行役員個人業務部長から常務執行役員に、執行役員森本剛は、執行役員東京支店長兼企画部東京事務所長から常務執行役員東京支店長兼企画部東京事務所長に、執行役員園尾善雄は、執行役員事務統括部長から常務執行役員に変更となっております。

また、平成25年4月1日付で執行役員村上卓史は、執行役員審査第二部長兼経営サポート室長から執行役員企業コンサルティング部長に、執行役員岸本敏彦は、執行役員人事部長から執行役員本店営業部長に変更となっております。

2. 平成25年4月1日付で本部組織改正を行い、審査第二部は企業コンサルティング部に、経営サポート室は企業活性化支援室に変更しております。

## (2) 会社役員に対する報酬等

(単位：百万円)

| 区 分   | 支 給 人 数 | 報 酬 等    |
|-------|---------|----------|
| 取 締 役 | 9名      | 188 (19) |
| 監 査 役 | 6名      | 50       |
| 計     | 15名     | 239 (19) |

- 注1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
- 取締役の報酬限度額は平成12年6月29日開催の定時株主総会において、報酬月額22百万円以内と定めております。
  - 監査役の報酬限度額は平成10年12月22日開催の臨時株主総会において、報酬月額6百万円以内と定めております。
  - 上記の報酬限度額とは別に、平成24年6月28日開催の定時株主総会により定められた株式報酬型ストック・オプションとしての報酬限度額は、年額45百万円であります。
  - 取締役に対する報酬等の欄には、当事業年度分の株式報酬型ストック・オプション報酬額を括弧内に内書きしております。
  - 上記のほか、平成24年6月28日開催の定時株主総会決議に基づき、役員退職慰労金を下記のとおり支給しております。
    - ・退任取締役 2名 38百万円
    - ・退任監査役 1名 1百万円金額には、過年度の事業報告において役員の報酬等の総額に含めた役員退職慰労引当金繰入額37百万円が含まれております。  
なお、役員退職慰労金については、平成24年6月28日開催の定時株主総会において、その廃止に伴う打ち切り支給を決議し、各役員の退任時に支払う予定であります。
  - 当事業年度末現在の人員は取締役7名、監査役5名であります。

### 3. 社外役員に関する事項

#### (1) 社外役員の兼職その他の状況

| 氏名    | 兼職その他の状況                               |
|-------|----------------------------------------|
| 太田 敏郎 | 株式会社ノーリツ 名誉会長                          |
| 岡田 信吾 | 星光ビル管理株式会社 代表取締役社長<br>南海電気鉄道株式会社 社外監査役 |
| 渡邊 勝幸 |                                        |
| 大麻 博範 | 神戸マリンホテルズ株式会社 常勤監査役                    |

注 星光ビル管理株式会社と当行とは、当行の所有不動産（一部）の管理委託取引があります。  
 なお、同社を含め兼職先と当行とは、いずれも特別な取引関係はありません。

#### (2) 社外役員の主な活動状況

| 氏名    | 在任期間              | 取締役会等への出席状況                                                            | 取締役会等における発言<br>その他の活動状況                                                            |
|-------|-------------------|------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 太田 敏郎 | 平成11年4月<br>～現在に至る | 当事業年度開催の取締役会10回中、8回出席しております。                                           | 取締役会において、企業経営に長年携わった経験と見識に基づき、ガバナンスに関することから経営全般に至るまで幅広い事項について、必要に応じて有用な発言を行っております。 |
| 岡田 信吾 | 平成14年6月<br>～現在に至る | 当事業年度開催の取締役会10回中、10回出席しております。<br>当事業年度開催の監査役会12回中、12回出席しております。         | 取締役会及び監査役会において、他社の代表取締役としての経験と見識に基づき、法令等遵守態勢や内部管理態勢の強化等に関し、必要に応じて有用な発言を行っております。    |
| 渡邊 勝幸 | 平成22年6月<br>～現在に至る | 当事業年度開催の取締役会10回中、10回出席しております。<br>当事業年度開催の監査役会12回中、12回出席しております。         | 取締役会及び監査役会において、行政に携わった経験と見識に基づき、法令等遵守態勢や内部管理態勢の強化等に関し、必要に応じて有用な発言を行っております。         |
| 大麻 博範 | 平成24年6月<br>～現在に至る | 社外監査役就任後に開催された取締役会8回中、8回出席しております。<br>社外監査役就任後に開催された監査役会8回中、8回出席しております。 | 取締役会及び監査役会において、行政に携わった経験と見識に基づき、法令等遵守態勢や内部管理態勢の強化等に関し、必要に応じて有用な発言を行っております。         |

### (3) 責任限定契約

| 氏 名     | 責任限定契約の内容の概要                                                                                          |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 太 田 敏 郎 | 当行と会社法第423条第1項の賠償責任について、会社法第427条第1項に基づき責任を限定する契約を締結しており、当該契約に基づき、賠償の限度額は報酬等の2年分で、法令が規定する最低責任限度額であります。 |
| 岡 田 信 吾 |                                                                                                       |
| 渡 邊 勝 幸 |                                                                                                       |
| 大 麻 博 範 |                                                                                                       |

### (4) 社外役員に対する報酬等

(単位：百万円)

|        | 支給人数 | 銀行から受けている報酬等 |
|--------|------|--------------|
| 報酬等の合計 | 5名   | 18 (0)       |

- 注1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 銀行の親会社等からの報酬はございません。
3. 上記の報酬限度額とは別に、平成24年6月28日開催の定時株主総会により定められた株式報酬型ストック・オプションとしての報酬限度額は、年額2百万円であります。
4. 報酬等の欄には、当事業年度分の株式報酬型ストック・オプション報酬額を括弧内に内書きしております。
5. 上記のほか、平成24年6月28日開催の定時株主総会決議に基づき、役員退職慰労金を下記のとおり支給しております。
- ・ 退任監査役 1名 1百万円
- 金額には、過年度の事業報告において役員の報酬等の総額に含めた役員退職慰労引当金繰入額1百万円が含まれております。
- なお、役員退職慰労金については、平成24年6月28日開催の定時株主総会において、その廃止に伴う打ち切り支給を決議し、各役員の退任時に支払う予定であります。
6. 当事業年度末現在の人数は取締役1名、監査役3名であります。

#### 4. 当行の株式に関する事項

##### (1) 株式数

|          |      |           |
|----------|------|-----------|
| 発行可能株式総数 | 普通株式 | 900,000千株 |
|          | 優先株式 | 100,000千株 |
| 発行済株式の総数 | 普通株式 | 410,940千株 |

##### (2) 当年度末株主数

9,094名

##### (3) 大株主

| 株主の氏名又は名称                 | 当行への出資状況  |        |
|---------------------------|-----------|--------|
|                           | 持株数等      | 持株比率   |
| 株式会社三井住友銀行                | 184,828千株 | 45.04% |
| みなと銀行共栄会                  | 30,315千株  | 7.38%  |
| 日本生命保険相互会社                | 12,001千株  | 2.92%  |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 10,338千株  | 2.51%  |
| みなと銀行従業員持株会               | 8,858千株   | 2.15%  |
| あいおいニッセイ同和損害保険株式会社        | 5,661千株   | 1.37%  |
| 三井住友海上火災保険株式会社            | 5,220千株   | 1.27%  |
| 住友生命保険相互会社                | 5,203千株   | 1.26%  |
| 株式会社三井住友銀行信託口             | 4,901千株   | 1.19%  |
| 東京海上日動火災保険株式会社            | 3,840千株   | 0.93%  |

注1. 持株数等は千株未満を切り捨てて表示しております。

2. 株式会社三井住友銀行の当行への出資状況には、同行が退職給付信託の信託財産として拠出し、議決権行使の指図権を留保している当行株式165,500千株(持株比率40.33%)を含んでおります。なお、株主名簿上の名義は「日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)」であります。

3. 株式会社三井住友銀行信託口は、「従業員持株会連携型ESOP」導入に伴い、設定された信託であります。なお、当該株式は計算書類上及び連結計算書類上、自己株式として処理しております。

4. 持株比率は自己株式(5,482千株)のうち、従業員持株会信託口所有自己株式(4,901千株)を除く、当行所有自己株式(581千株)を控除して計算しております。

## 5. 当行の新株予約権等に関する事項

### (1) 事業年度の末日において当行の会社役員が有している当行の新株予約権等

|                  | 新株予約権等の内容の概要                                                                                                                                  | 新株予約権等を有する者の人数 |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 取締役<br>(社外役員を除く) | ① 名称：株式会社みなと銀行 第1回新株予約権<br>② 新株予約権の数：188個<br>③ 目的となる株式の種類及び数：普通株式 188,000株<br>④ 新株予約権の行使期間：平成24年7月21日から<br>平成54年7月20日まで<br>⑤ 権利行使価格（1株当たり）：1円 | 6人             |
| 社外取締役            | ① 名称：株式会社みなと銀行 第1回新株予約権<br>② 新株予約権の数：5個<br>③ 目的となる株式の種類及び数：普通株式 5,000株<br>④ 新株予約権の行使期間：平成24年7月21日から<br>平成54年7月20日まで<br>⑤ 権利行使価格（1株当たり）：1円     | 1人             |
| 監査役              | —                                                                                                                                             | —              |

### (2) 事業年度中に使用人等に交付した当行の新株予約権等

|                         | 新株予約権等の内容の概要                                                                                                                                  | 新株予約権等を交付した者の人数 |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 執行役員                    | ① 名称：株式会社みなと銀行 第1回新株予約権<br>② 新株予約権の数：175個<br>③ 目的となる株式の種類及び数：普通株式 175,000株<br>④ 新株予約権の行使期間：平成24年7月21日から<br>平成54年7月20日まで<br>⑤ 権利行使価格（1株当たり）：1円 | 12人             |
| 使用人                     | —                                                                                                                                             | —               |
| 子会社及び子法人等の<br>会社役員及び使用人 | —                                                                                                                                             | —               |

## 6. 会計監査人に関する事項

### (1) 会計監査人の状況

| 名 称          | 指定有限責任社員           | 当該事業年度に係る報酬等 |
|--------------|--------------------|--------------|
| 有限責任 あずさ監査法人 | 河 崎 雄 亮<br>神 田 正 史 | 63百万円        |

注 当行、子会社及び子法人等が支払うべき会計監査人に対する報酬等の合計額は72百万円であります。

### (2) 会計監査人に関するその他の事項

#### ・会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

当行では、会社法第340条に基づき監査役会において会計監査人を解任するほか、職務を適切に遂行することが困難と認められる等の場合には、監査役会の同意又は請求に基づき、会計監査人の解任又は不再任の議案を株主総会に提出いたします。

## 7. 業務の適正を確保する体制

当行が業務の適正を確保するための体制として取締役会において決議した「内部統制システム構築の基本方針」は次のとおりであります。

- (1) 役職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制について
  - ① 役職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するため、取締役会でコンプライアンス・マニュアル等を制定し、役職員がこれを遵守する。
  - ② 当行におけるコンプライアンス体制を有効に機能させることを目的として、年度ごとに、規程の整備や研修等、コンプライアンスに関する具体的な年間計画を取締役会で策定し、体制整備を進める。
  - ③ 会計処理の適正性及び財務報告の信頼性を確保するため、財務報告に係る内部統制評価規程等を制定し、財務報告に係る内部統制について必要な体制を整備・運用するとともに、その有効性を評価する。
  - ④ 当行及び役職員による法令等の違反を早期に発見・是正することを目的として、内部通報制度を整備し、これを適切に運営する。
  - ⑤ 反社会的勢力とは一切の関係を遮断する。不当要求はこれを拒絶し、裏取引や資金提供を行わず、必要に応じ法的対応を行う。反社会的勢力への対応は、外部専門機関と連携しつつ、組織全体として行う。
  - ⑥ 利益相反管理に関する基本方針として利益相反管理規程を制定し、お客様の利益を不当に害することがないように、グループ内における利益相反を適切に管理する体制を整備する。
  - ⑦ マネー・ロンダリング及びテロ資金の供与を防止するための基本方針としてマネー・ロンダリング等防止管理規程を定め、同規程に基づいた運営及び管理を行う。
  - ⑧ 上記の実施状況を検証するため、各部署から独立した内部監査担当部署が内部監査を行い、その結果を取締役会、経営会議等に対して報告する。
- (2) 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制について
  - ① 取締役の職務の執行に係る情報については、情報・文書管理規程等に則り、適切な保存及び管理を行う。
- (3) 損失の危険の管理に関する規程その他の体制について
  - ① 当行の損失の危険の管理を適切に行うため、取締役会の決議によりリスク管理の基本的事項をリスク管理基本規程として定め、リスク管理主担当部署は同規程に則り、各種リスク管理の基本方針を策定する。

- ② 担当役員、各リスク管理の主担当部署及び企画部は、上記①において承認されたリスク管理の基本方針に基づいてリスク管理を行う。
- (4) 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制について
  - ① 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するため、業務計画を策定し、それに基づく業務運営及び業績管理を行う。
  - ② 各取締役が適切に職務の執行を分担すると共に、組織・職務権限等に関する規程を定め、これらの規程に則った適切な権限委譲を行う。
- (5) 企業集団における業務の適正を確保するための体制について
  - ① 当行グループの業務の適正を確保するため、経営上の基本方針ならびに基本的計画を策定する。
  - ② 当行グループ全体における一元的なコンプライアンス体制を維持するため、コンプライアンス取組に関する関係会社規則を定め、同規則に則った適切な管理を行う。
  - ③ 当行グループ内における取引等の公正性及び適切性を確保するため、グループ会社間の取引等に係る方針をグループ内取引管理規則として定め、同規則に基づいた運営及び管理を行う。
  - ④ 必要に応じて、株式会社三井住友フィナンシャルグループならびに株式会社三井住友銀行と連携して体制整備を行う。
- (6) 監査役の職務を補助すべき使用人の体制、取締役からの独立について
  - ① 監査役の監査業務の遂行を補助するために、監査役室を置く。
  - ② 監査役室の使用人の取締役からの独立性を確保するために、当該使用人の人事評価・異動については、監査役の同意を必要とする。
- (7) 役職員が監査役に報告をするための体制等に係る事項について
  - ① 役職員は、当行もしくはグループ会社に著しい損害を及ぼすおそれのある事実や、不正の行為または法令、定款に違反する重大な事実を発見したときには、当該事実を監査役に対し報告する。
  - ② 役職員は、その業務執行について監査役から説明を求められたときには、速やかに当該事項を報告する。
- (8) 監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制に係る事項について
  - ① 内部監査担当部署は、監査役と緊密な連携を保ち、監査役が自らの監査について協力を求めるときには、監査役が実効的な監査を行うことができるよう努める。
  - ② 代表取締役は、監査役との間で定期的な意見交換を行う機会を確保すること等により、監査役による監査機能の実効性向上に努める。

# 第14期末（平成25年3月31日現在）貸借対照表

(単位：百万円)

| 科 目           | 金 額              | 科 目                | 金 額              |
|---------------|------------------|--------------------|------------------|
| <b>(資産の部)</b> |                  | <b>(負債の部)</b>      |                  |
| 現金預け金         | 36,658           | 預金                 | 2,870,715        |
| 現金            | 22,551           | 当座預金               | 128,862          |
| 預け金           | 14,106           | 普通預金               | 1,507,771        |
| 預け金           | 1,123            | 貯蓄預金               | 21,844           |
| コ買商           | 5,000            | 通知預金               | 8,742            |
| 現品            | 720              | 定期預金               | 1,173,584        |
| 商有価証券         | 270              | 定額積立預金             | 102              |
| 商有価証券         | 449              | 他の預金               | 29,806           |
| 有価証券          | 804,167          | 譲渡性預金              | 17,382           |
| 国債            | 418,021          | 債権取引受入担保金          | 55,285           |
| 地方債           | 172,137          | 借入金                | 26,500           |
| 株式            | 111,473          | 外国為替               | 26,500           |
| その他の証券        | 24,179           | 外国為替               | 33               |
| 貸出金           | 2,260,542        | 外債                 | 11               |
| 引当金           | 25,225           | 未償外債               | 12               |
| 手形            | 64,252           | 社債                 | 9                |
| 証書            | 1,992,353        | その他の負債             | 28,000           |
| 当座預金          | 178,710          | 未決未払負債             | 34,037           |
| 外替            | 5,970            | 未決未払費用             | 692              |
| 外国預金          | 2,000            | 未決未払費用             | 2,673            |
| 外国預金          | 1,218            | 未決未払費用             | 2,195            |
| 外国預金          | 2,750            | 未決未払費用             | 744              |
| その他           | 14,060           | 未決未払費用             | 0                |
| 未決未払費用        | 199              | 未決未払費用             | 1,908            |
| 未決未払費用        | 2,880            | 未決未払費用             | 1,693            |
| 未決未払費用        | 2,979            | 未決未払費用             | 340              |
| 未決未払費用        | 2,513            | 未決未払費用             | 23,789           |
| 未決未払費用        | 5,488            | 未決未払費用             | 828              |
| 有形固定資産        | 35,196           | 賞与引当金              | 4,870            |
| 建物            | 15,688           | 退職引当金              | 617              |
| 土地            | 16,480           | 睡眠負債               | 12,325           |
| 構築物           | 1,602            | 負債合計               | 3,050,597        |
| 構築物           | 22               |                    |                  |
| 無形固定資産        | 1,401            | <b>(純資産の部)</b>     |                  |
| 無形固定資産        | 4,953            | 資本                 | 27,484           |
| 無形固定資産        | 3,741            | 剰余金                | 49,500           |
| 無形固定資産        | 1,211            | 資本剰余金              | 27,430           |
| 繰上金           | 9,122            | 資本剰余金              | 22,069           |
| 繰上金           | 12,325           | 利益剰余金              | 28,953           |
| 繰上金           | △ 26,035         | 利益剰余金              | 53               |
|               |                  | 利益剰余金              | 28,899           |
|               |                  | 利益剰余金              | 2,325            |
|               |                  | 利益剰余金              | 26,574           |
|               |                  | 利益剰余金              | △ 778            |
|               |                  | 利益剰余金              | 105,158          |
|               |                  | 利益剰余金              | 8,010            |
|               |                  | 利益剰余金              | 8,010            |
|               |                  | 利益剰余金              | 36               |
|               |                  | 利益剰余金              | 113,206          |
| <b>資産の部合計</b> | <b>3,163,803</b> | <b>負債及び純資産の部合計</b> | <b>3,163,803</b> |

# 第14期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで) 損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目            | 金 額           | 金 額           |
|----------------|---------------|---------------|
| <b>経常収益</b>    |               | <b>57,589</b> |
| <b>資金運用収益</b>  | <b>41,101</b> |               |
| 貸出金利息          | 35,250        |               |
| 有価証券利息配当金      | 5,573         |               |
| コールローン利息       | 61            |               |
| 買現先利息          | 34            |               |
| 債券貸借取引受入利息     | 0             |               |
| 預け金利息          | 2             |               |
| その他の受入利息       | 179           |               |
| <b>役務取引等収益</b> | <b>10,619</b> |               |
| 受入為替手数料        | 2,908         |               |
| その他の役務収益       | 7,710         |               |
| <b>その他業務収益</b> | <b>3,803</b>  |               |
| 外国為替売買益        | 425           |               |
| 商品有価証券売却益      | 5             |               |
| 国債等債券売却益       | 3,371         |               |
| その他の業務収益       | 1             |               |
| <b>その他経常収益</b> | <b>2,065</b>  |               |
| 償却債権取立益        | 36            |               |
| 株式等売却益         | 199           |               |
| その他の経常収益       | 1,829         |               |
| <b>経常費用</b>    |               | <b>47,051</b> |
| <b>資金調達費用</b>  | <b>3,311</b>  |               |
| 預金利息           | 1,826         |               |
| 譲渡性預金利息        | 22            |               |
| 債券貸借取引支払利息     | 22            |               |
| 借入金利息          | 700           |               |
| 社債利息           | 638           |               |
| その他の支払利息       | 101           |               |
| <b>役務取引等費用</b> | <b>4,092</b>  |               |
| 支払為替手数料        | 593           |               |
| その他の役務費用       | 3,499         |               |
| <b>その他業務費用</b> | <b>301</b>    |               |
| 国債等債券売却損       | 2             |               |
| 金融派生商品費用       | 298           |               |
| <b>営業経費</b>    | <b>33,193</b> |               |
| <b>その他経常費用</b> | <b>6,152</b>  |               |
| 貸倒引当金繰入額       | 4,880         |               |
| 貸出金償却          | 0             |               |
| 株式等売却損         | 1             |               |
| 株式等償却          | 482           |               |
| その他の経常費用       | 787           |               |
| <b>経常利益</b>    |               | <b>10,538</b> |

(単位：百万円)

| 科 目          | 金 額   |        |
|--------------|-------|--------|
| 特別利益         |       | 66     |
| 固定資産処分益      | 66    |        |
| 特別損失         |       | 310    |
| 固定資産処分損      | 132   |        |
| 減損損失         | 177   |        |
| 税引前当期純利益     |       | 10,293 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,939 |        |
| 法人税等調整額      | △ 11  |        |
| 法人税等合計       |       | 3,928  |
| 当期純利益        |       | 6,365  |

第14期 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで) 株主資本等変動計算書  
(単位：百万円)

| 科 目             | 金 額     |
|-----------------|---------|
| 株主資本            |         |
| 本 金             |         |
| 当 期 首 残 高 額     | 27,484  |
| 当 期 変 動 額 合 計   | —       |
| 当 期 末 残 高 額     | 27,484  |
| 資 本 剰 余 金       |         |
| 備 用 金           |         |
| 当 期 首 残 高 額     | 27,430  |
| 当 期 変 動 額 合 計   | —       |
| 当 期 末 残 高 額     | 27,430  |
| そ の 他           |         |
| 当 期 首 残 高 額     | 22,065  |
| 当 期 変 動 額 合 計   | 4       |
| 当 期 末 残 高 額     | 4       |
| 当 期 末 残 高 額 合 計 | 22,069  |
| 資 本 剰 余 金 合 計   |         |
| 当 期 首 残 高 額     | 49,495  |
| 当 期 変 動 額 合 計   | 4       |
| 当 期 末 残 高 額     | 4       |
| 当 期 末 残 高 額 合 計 | 49,500  |
| 利 益 剰 余 金       |         |
| 備 用 金           |         |
| 当 期 首 残 高 額     | 53      |
| 当 期 変 動 額 合 計   | —       |
| 当 期 末 残 高 額     | 53      |
| そ の 他           |         |
| 利 益 積 立 金       |         |
| 当 期 首 残 高 額     | 2,325   |
| 当 期 変 動 額 合 計   | —       |
| 当 期 末 残 高 額     | 2,325   |
| 繰 越 当 期 初 残 高 額 |         |
| 当 期 首 残 高 額     | 22,230  |
| 当 期 変 動 額 合 計   | △ 2,021 |
| 当 期 末 残 高 額     | 6,365   |
| 配 当 金 純 額 合 計   | 4,344   |
| 当 期 末 残 高 額     | 26,574  |

(単位：百万円)

| 科 目                 | 金 額     |
|---------------------|---------|
| 利益剰余金               | 24,608  |
| 剰余金                 | △ 2,021 |
| 当期純利益               | 6,365   |
| 配当                  | 4,344   |
| 合計                  | 28,953  |
| 自己株式                | △ 949   |
| 取得                  | △ 3     |
| 処分                  | 174     |
| 合計                  | 170     |
| 株主資本                | △ 778   |
| 株主資本                | 100,639 |
| 剰余金                 | △ 2,021 |
| 当期純利益               | 6,365   |
| 取得                  | △ 3     |
| 処分                  | 178     |
| 合計                  | 4,519   |
| 評価差額金               | 105,158 |
| 評価差額金               | 3,300   |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 4,709   |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 4,709   |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 8,010   |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 3,300   |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 4,709   |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 4,709   |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 8,010   |
| 新株予約権               | —       |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 36      |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 36      |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 36      |
| 純資産                 | 103,940 |
| 剰余金                 | △ 2,021 |
| 当期純利益               | 6,365   |
| 取得                  | △ 3     |
| 処分                  | 178     |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 4,746   |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 9,265   |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 113,206 |

## 連結計算書類の作成方針

### 1. 連結の範囲に関する事項

#### ① 連結される子会社及び子法人等 9社6組合

主要な会社名

みなとビジネスサービス株式会社

みなとアセットリサーチ株式会社

みなと保証株式会社

みなとリース株式会社

株式会社みなとカード

みなとシステム株式会社

みなとキャピタル株式会社

みなとコンサルティング株式会社

Minato Preferred Capital Cayman Limited

ほか投資事業有限責任組合6組合

なお、みなとコンサルティング株式会社は新規設立により、当連結会計年度から連結の範囲に含めております。

#### ② 非連結の子会社及び子法人等

該当ありません。

### 2. 持分法の適用に関する事項

#### ① 持分法適用の非連結の子会社及び子法人等

該当ありません。

#### ② 持分法適用の関連法人等

該当ありません。

#### ③ 持分法非適用の非連結の子会社及び子法人等

該当ありません。

#### ④ 持分法非適用の関連法人等

該当ありません。

### 3. 連結される子会社及び子法人等の事業年度等に関する事項

#### ① 連結される子会社及び子法人等の決算日は次のとおりであります。

1月24日 1社

3月末日 8社

12月末日 6組合

#### ② 連結される子会社及び子法人等については、それぞれの決算日の財務諸表により連結しております。連結決算日と上記の決算日との間に生じた重要な取引については、必要な調整を行っております。

# 連結貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位：百万円)

| 科 目            | 金 額       | 科 目           | 金 額       |
|----------------|-----------|---------------|-----------|
| (資産の部)         |           | (負債の部)        |           |
| 現金預け金          | 36,682    | 預金            | 2,863,001 |
| コールローン及び買入手形   | 1,123     | 譲渡性預金         | 13,382    |
| 買現先勘定          | 5,000     | 債券貸借取引受入担保金   | 55,285    |
| 買入金銭債権         | 2,800     | 借入金           | 16,300    |
| 商品有価証券         | 720       | 外国為替          | 33        |
| 有価証券           | 800,648   | 社債            | 28,000    |
| 貸出金            | 2,245,483 | その他負債         | 46,366    |
| 外国為替           | 5,970     | 賞与引当金         | 928       |
| リース債権及びリース投資資産 | 9,469     | 退職給付引当金       | 4,995     |
| その他資産          | 27,662    | 役員退職慰労引当金     | 63        |
| 有形固定資産         | 35,304    | 睡眠預金払戻損失引当金   | 617       |
| 建物             | 15,690    | 繰延税金負債        | 106       |
| 土地             | 16,480    | 支払承諾          | 12,587    |
| リース資産          | 649       | 負債の部合計        | 3,041,669 |
| 建設仮勘定          | 22        | (純資産の部)       |           |
| その他の有形固定資産     | 2,461     | 資本金           | 27,484    |
| 無形固定資産         | 5,022     | 資本剰余金         | 49,500    |
| ソフトウェア         | 3,783     | 利益剰余金         | 32,876    |
| その他の無形固定資産     | 1,238     | 自己株式          | △ 778     |
| 繰延税金資産         | 9,482     | 株主資本合計        | 109,082   |
| 支払承諾見返         | 12,587    | その他有価証券評価差額金  | 8,247     |
| 貸倒引当金          | △ 28,120  | その他の包括利益累計額合計 | 8,247     |
|                |           | 新株予約権         | 36        |
|                |           | 少数株主持分        | 10,800    |
|                |           | 純資産の部合計       | 128,166   |
| 資産の部合計         | 3,169,835 | 負債及び純資産の部合計   | 3,169,835 |

# 連結損益計算書

(平成24年4月1日から  
平成25年3月31日まで)

(単位：百万円)

| 科 目         | 金 額    |        |
|-------------|--------|--------|
| 経常収益        | 41,480 | 65,174 |
| 運用益         | 35,469 |        |
| 出金利息        | 5,270  |        |
| 貸付利息        | 61     |        |
| 有価証券売却益     | 34     |        |
| 口先取引受入利息    | 0      |        |
| 債券の利息       | 2      |        |
| 預金の利息       | 642    |        |
| その他の受入利息    | 12,542 |        |
| 業務の取引等収益    | 9,110  |        |
| その他の経常収益    | 2,040  |        |
| 償却の利益       | 47     |        |
| その他の経常収益    | 1,993  |        |
| 経常費用        | 2,757  | 52,841 |
| 費用          | 1,825  |        |
| 達性預金利息      | 21     |        |
| 金渡借取引支払利息   | 22     |        |
| 債券の利息       | 207    |        |
| 社債の利息       | 638    |        |
| その他の支払利息    | 42     |        |
| 業務の取引等費用    | 3,324  |        |
| その他の経常費用    | 5,275  |        |
| 業の経常費用      | 34,859 |        |
| 倒引当金        | 6,624  |        |
| その他の経常費用    | 5,187  |        |
| 経常費用        | 1,436  |        |
| 経常利益        |        | 12,332 |
| 特別利益        |        | 66     |
| 特別損失        | 66     |        |
| 特別損失        | 142    | 320    |
| 特別損失        | 177    |        |
| 税金等調整前当期純利益 |        | 12,079 |
| 法人税等調整額     | 4,546  |        |
| 法人税等調整額     | 20     |        |
| 法人税等調整額     |        | 4,567  |
| 法人税等調整額     |        | 7,512  |
| 法人税等調整額     |        | 562    |
| 法人税等調整額     |        | 6,949  |

# 連結株主資本等変動計算書

(平成24年4月1日から  
平成25年3月31日まで)

(単位：百万円)

| 科 目     | 金 額     |
|---------|---------|
| 株主資本    |         |
| 資本金     |         |
| 当期首残高   | 27,484  |
| 当期変動額   |         |
| 当期変動額合計 | —       |
| 当期末残高   | 27,484  |
| 資本剰余金   |         |
| 当期首残高   | 49,495  |
| 当期変動額   |         |
| 自己株式の処分 | 4       |
| 当期変動額合計 | 4       |
| 当期末残高   | 49,500  |
| 利益剰余金   |         |
| 当期首残高   | 27,948  |
| 当期変動額   |         |
| 剰余金の配当  | △ 2,021 |
| 当期純利益   | 6,949   |
| 当期変動額合計 | 4,927   |
| 当期末残高   | 32,876  |
| 自己株式    |         |
| 当期首残高   | △ 949   |
| 当期変動額   |         |
| 自己株式の取得 | △ 3     |
| 自己株式の処分 | 174     |
| 当期変動額合計 | 170     |
| 当期末残高   | △ 778   |
| 株主資本合計  |         |
| 当期首残高   | 103,979 |
| 当期変動額   |         |
| 剰余金の配当  | △ 2,021 |
| 当期純利益   | 6,949   |
| 自己株式の取得 | △ 3     |
| 自己株式の処分 | 178     |
| 当期変動額合計 | 5,103   |
| 当期末残高   | 109,082 |

(単位：百万円)

| 科 目                 | 金 額     |
|---------------------|---------|
| その他の包括利益累計額         |         |
| その他の有価証券評価差額金       |         |
| 当期首残高               | 3,442   |
| 当期変動額               |         |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 4,804   |
| 当期変動額合計             | 4,804   |
| 当期末残高               | 8,247   |
| その他の包括利益累計額合計       |         |
| 当期首残高               | 3,442   |
| 当期変動額               |         |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 4,804   |
| 当期変動額合計             | 4,804   |
| 当期末残高               | 8,247   |
| 新株予約権               |         |
| 当期首残高               | —       |
| 当期変動額               |         |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 36      |
| 当期変動額合計             | 36      |
| 当期末残高               | 36      |
| 少数株主持分              |         |
| 当期首残高               | 10,715  |
| 当期変動額               |         |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 84      |
| 当期変動額合計             | 84      |
| 当期末残高               | 10,800  |
| 純資産合計               |         |
| 当期首残高               | 118,137 |
| 当期変動額               |         |
| 剰余金の配当              | △ 2,021 |
| 当期純利益               | 6,949   |
| 自己株式の取得             | △ 3     |
| 自己株式の処分             | 178     |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 4,925   |
| 当期変動額合計             | 10,028  |
| 当期末残高               | 128,166 |

# 会計監査人の監査報告書 謄本

## 独立監査人の監査報告書

平成25年5月9日

株式会社 みなと銀行  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 河崎 雄亮 ㊞

指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 神田 正史 ㊞

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社みなと銀行の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第14期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記並びにその附属明細書について監査を行った。

### 計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書 謄本

## 独立監査人の監査報告書

平成25年5月9日

株式会社 みなと銀行  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 河 崎 雄 亮 ㊞

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 神 田 正 史 ㊞

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社みなと銀行の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結計算書類の作成のための基本となる重要な事項及びその他の注記について監査を行った。

### 連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社みなと銀行及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第14期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

監査役会は、監査の方針、監査計画、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

各監査役は、監査役会が定めた監査役監査基準に準拠し、監査の方針、監査計画、職務の分担等に従い、取締役、監査部、内部統制所管部室その他の使用人、親会社の監査役その他の者等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な書類等を閲覧し、本部及び主要な営業店において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について監査役会が定めた内部統制システムに係る監査の実施基準に準拠し、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。なお、財務報告に係る内部統制については取締役等及び有限責任 あずさ監査法人から当該内部統制の評価及び監査の状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求め、整備の状況を確認いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

なお、財務報告に係る内部統制については、本監査報告書の作成時点において開示すべき重要な不備がない旨の報告を取締役等及び有限責任 あずさ監査法人から受けております。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任 あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人有限責任 あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成25年5月9日

株式会社 みなと銀行 監査役会

常勤監査役 須 方 輝 ㊟

常勤監査役 菊 池 正八州 ㊟

監 査 役 岡 田 信 吾 ㊟

監 査 役 渡 邊 勝 幸 ㊟

監 査 役 大 麻 博 範 ㊟

(注) 監査役岡田信吾、監査役渡邊勝幸及び監査役大麻博範は、会社法第2条第16号及び第335条第3項に定める社外監査役であります。

以 上

## 株主総会参考書類

### 第1号議案 剰余金の処分の件

当行は、銀行の公共性に鑑み、経営基盤の拡充に努め、内部留保の充実を図りつつ、安定的な配当を実施することを基本としております。これに基づき、当期の剰余金の処分につきましては、次のとおりといたしたいと存じます。

#### 期末配当に関する事項

- (1) 株主に対する配当財産の割当に関する事項及び総額  
当行普通株式1株につき金5円、総額2,051,796,885円
- (2) 剰余金の配当が効力を生じる日  
平成25年6月28日

## 第2号議案 取締役5名選任の件

取締役尾野俊二、後藤盛次、貞苺茂、安国尚史、太田敏郎の5氏は本総会終結の時をもって任期満了となりますので、取締役5名の選任をお願いいたしたいと存じます。

取締役候補者は次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)                     | 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                         | 所有する<br>当行株式の数 |
|-------|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 1     | おのしゅんじ<br>尾野俊二<br>(昭和25年6月28日生)  | 昭和48年4月 株式会社神戸銀行入行<br>平成14年6月 株式会社三井住友銀行執行役員<br>公共法人営業部長<br>平成17年6月 同行常務執行役員<br>平成18年4月 同行取締役兼専務執行役員<br>平成19年4月 同行取締役<br>平成19年5月 当行副頭取執行役員<br>平成19年6月 当行取締役副頭取兼副頭取執行役員<br>平成22年6月 当行取締役頭取兼最高執行役員<br>(現任)<br><br>(担当)<br>監査部、経営管理室                                          | 112,000株       |
| 2     | ごとうせいじ<br>後藤盛次<br>(昭和30年10月21日生) | 昭和53年4月 株式会社太陽神戸銀行入行<br>平成13年6月 当行本店営業部営業第二部長<br>平成15年4月 当行尼崎支店長<br>平成17年6月 当行執行役員尼崎支店長<br>平成18年4月 当行執行役員本店営業部長兼本店<br>営業部営業第一部長<br>平成20年6月 当行常務執行役員本店営業部長<br>平成21年4月 当行常務執行役員<br>平成21年6月 当行常務取締役兼常務執行役員<br>平成24年4月 当行専務取締役兼専務執行役員<br>(現任)<br><br>(担当)<br>総務部、支店サポート部、法人業務部 | 33,000株        |

| 候補者番号  | 氏名<br>(生年月日)                            | 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                 | 所有する<br>当行株式の数 |
|--------|-----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 3      | さだ かり しげる<br>貞 莉 茂<br>(昭和32年9月22日生)     | 昭和55年4月 株式会社太陽神戸銀行入行<br>平成13年4月 株式会社三井住友銀行ビジネスオーナー営業部長<br>平成19年4月 同行大阪本店営業第二部長<br>平成22年4月 同行執行役員監査部長<br>平成23年5月 当行常務執行役員<br>平成23年6月 当行常務取締役兼常務執行役員<br>平成25年4月 当行専務取締役兼専務執行役員<br>(現任)<br><br>(担当)<br>リスク統括部、企画部、財務部 | 31,000株        |
| 4      | やす くに ひさ し<br>安 国 尚 史<br>(昭和32年4月25日生)  | 昭和56年4月 株式会社阪神相互銀行入行<br>平成14年6月 当行上郡支店長<br>平成16年4月 当行審査第一部次長<br>平成18年10月 当行西宮支店長<br>平成21年4月 当行執行役員本店営業部長<br>平成23年4月 当行常務執行役員<br>平成23年6月 当行常務取締役兼常務執行役員<br>(現任)<br><br>(担当)<br>審査企画部、審査部、企業コンサルティング部、<br>審査管理部      | 25,000株        |
| 5<br>※ | おお はし ただ はる<br>大 橋 忠 晴<br>(昭和19年11月9日生) | 昭和44年4月 川崎重工業株式会社入社<br>平成15年6月 同社常務取締役<br>平成17年4月 同社取締役副社長<br>平成17年6月 同社取締役社長<br>平成21年6月 同社取締役会長 (現任)<br><br>(重要な兼職の状況)<br>川崎重工業株式会社取締役会長 神戸商工会議所<br>会頭                                                            | 0株             |

- 注1. 取締役候補者と当行との間には、特別の利害関係はありません。
2. 取締役候補者のうち、大橋忠晴氏は社外取締役の候補者であります。同氏に関する特記事項は以下のとおりであります。
- (1) 社外取締役候補とした理由について  
大橋忠晴氏は、経営者としての豊富な経験と幅広い見識を有しており、社外取締役に適任であると判断いたしました。なお、東京証券取引所、大阪証券取引所に対して同氏を独立役員とする独立役員届出書を提出する予定です。
- (2) 責任限定契約について  
社外取締役が期待される役割を十分発揮できるよう、会社法第427条第1項に基づき、定款第36条において、社外取締役との間で任務を怠ったことによる損害賠償責任を限定する契約を締結できる旨を定めております。これにより、大橋忠晴氏が取締役に就任した場合には、社外取締役として当行との間で当該責任限定契約を締結する予定であります。その契約内容は次のとおりであります。
- ・社外取締役が任務を怠ったことによって、当行に対し損害賠償責任を負う場合は、当該社外取締役が、職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額を限度として、その責任を負うものとし、その損害賠償責任額を超える部分については当然に免責する。
3. ※は新任の取締役候補者であります。

### 第3号議案 監査役2名選任の件

監査役岡田信吾氏は本総会終結の時をもって任期満了となり、須方輝氏は本総会終結の時をもって辞任されますので、監査役2名の選任をお願いいたしたいと存じます。

なお、本議案の提出につきましては、予め監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は次のとおりであります。

| 候補者番号  | 氏名<br>(生年月日)                          | 略歴、地位及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                | 所有する<br>当行株式の数 |
|--------|---------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 1<br>※ | にし むら たか つぐ<br>西村 隆嗣<br>(昭和33年8月16日生) | 昭和57年4月 株式会社阪神相互銀行入行<br>平成16年4月 当行西神中央支店長<br>平成18年4月 当行大阪支店営業第三部長<br>平成20年10月 当行大阪支店営業第四部長<br>平成21年4月 当行三宮支店長<br>平成23年4月 当行執行役員大阪支店長<br>平成25年4月 当行顧問(現任)                                                                                                       | 7,000株         |
| 2<br>※ | あま べ のぶ や<br>余部 信也<br>(昭和33年7月24日生)   | 昭和56年4月 日本生命保険相互会社入社<br>平成16年4月 ニッセイ同和損害保険株式会社営業企画部長<br>平成17年4月 同社企画部長<br>平成19年3月 日本生命保険相互会社神戸支社長<br>平成21年3月 同社営業企画部・国際業務部審議役<br>平成22年3月 同社執行役員<br>平成22年4月 長生人寿保険有限公司総経理<br>平成25年4月 ニッセイ情報テクノロジー株式会社代表取締役副社長(現任)<br><br>(重要な兼職の状況)<br>ニッセイ情報テクノロジー株式会社代表取締役副社長 | 0株             |

注1. 監査役候補者と当行との間には、特別の利害関係はありません。

2. 監査役候補者のうち、余部信也氏は社外監査役の候補者であります。同氏に関する特記事項は以下のとおりであります。

(1) 社外監査役候補とした理由について

余部信也氏は、経営者としての豊富な経験と幅広い見識を有しており、社外監査役に適任であると判断いたしました。なお、東京証券取引所、大阪証券取引所に対して同氏を独立役員とする独立役員届出書を提出する予定です。

- (2) 責任限定契約について  
社外監査役が期待される役割を十分発揮できるよう、会社法第427条第1項に基づき、定款第44条において、社外監査役との間で任務を怠ったことによる損害賠償責任を限定する契約を締結する旨を定めております。  
これにより、余部信也氏が監査役に就任した場合には、社外監査役として当行との間で当該責任限定契約を締結する予定であります。その契約内容は次のとおりであります。
- ・社外監査役が任務を怠ったことによって、当行に対し損害賠償責任を負う場合は、当該社外監査役が、職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額を限度として、その責任を負うものとし、その損害賠償責任額を超える部分については当然に免責する。
3. ※は新任の監査役候補者であります。

以 上

## ＜インターネットによる議決権行使のお手続について＞

インターネットにより議決権をご行使される場合は、下記事項をご確認のうえ、ご行使くださいますようお願い申し上げます。

なお、当日ご出席の場合は、郵送またはインターネットによる議決権行使のお手続はいずれも不要です。

### 記

#### 1. インターネットによる議決権行使方法について

- (1) インターネットによる議決権行使は、当行の指定する以下の議決権行使サイトをご利用いただくことによつてのみ可能です。なお、携帯電話を用いたインターネットでもご利用いただくことが可能です。

【議決権行使サイトURL】 ウェブ行使  
<http://www.web54.net>



※バーコード読取機能付の携帯電話を利用して右の「QRコード®」を読み取り、議決権行使サイトに接続することも可能です。なお、操作方法の詳細についてはお手持ちの携帯電話の取扱説明書をご確認ください。  
(QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。)

- (2) インターネットにより議決権を行使される場合は、同封の議決権行使書用紙に記載の議決権行使コード及びパスワードをご利用のうえ、画面の案内にしたがって議案の賛否をご登録ください。
- (3) インターネットによる議決権行使は、平成25年6月26日（水曜日）午後5時まで受付いたしますが、お早めにご行使くださり、ご不明な点等がございましたら次ページの問い合わせ先にお問い合わせください。

#### 2. インターネットによる議決権行使のためのシステム環境について

議決権行使サイトをご利用いただくためには、次のシステム環境が必要です。

- (1) インターネットにアクセスできること。
- (2) パソコンを用いて議決権行使される場合は、インターネット閲覧（ブラウザ）ソフトウェアとして、Microsoft® Internet Explorer 6.0以上を使用できること。ハードウェアの環境として、上記インターネット閲覧（ブラウザ）ソフトウェアを使用することができること。

- (3) 携帯電話を用いて議決権行使される場合は、使用する機種が、128bitSSL通信（暗号化通信）が可能な機種であること。  
（セキュリティ確保のため、128bitSSL通信（暗号化通信）が可能な機種のみ対応しておりますので、一部の機種ではご利用できません。スマートフォンを含む携帯電話のフルブラウザ機能を用いた議決権行使も可能ですが、機種によってはご利用いただけない場合がありますので、ご了承ください。）  
（Microsoftは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。）

### 3. 複数回にわたりご行使された場合の議決権の取り扱い

- (1) 郵送とインターネットにより重複して議決権をご行使された場合は、インターネットによる議決権行使の内容を有効として取り扱わせていただきますのでご了承ください。
- (2) インターネットにより複数回にわたり議決権をご行使された場合は、最後にご行使された内容を有効とさせていただきます。またパソコンと携帯電話で重複して議決権をご行使された場合も、最後にご行使された内容を有効とさせていただきます。

### 4. 議決権行使サイトへのアクセスに際して発生する費用について

議決権行使サイトへのアクセスに際して発生する費用（インターネット接続料金・電話料金等）は、株主さまのご負担となります。また、携帯電話をご利用の場合は、パケット通信料・その他携帯電話利用による料金が必要になりますが、これらの料金も株主さまのご負担となります。

以 上

インターネットによる議決権行使に関してご不明な点につきましては、以下にお問い合わせください。よろしくお願いいたします。

|           |                                                                                                                |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|           | (問い合わせ先)                                                                                                       |
| 株主名簿管理人   | 三井住友信託銀行証券代行部                                                                                                  |
| 【専用ダイヤル】  |  0120-652-031 (午前9時～午後9時)   |
| <その他のご照会> |  0120-782-031 (平日午前9時～午後5時) |

# 定時株主総会会場のご案内

会 場 神戸市中央区三宮町2丁目1番1号  
当行本店9階会議室  
電話番号 078(331)8141 (大代表)

## ◎会場付近の略図

